

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんおよび

## 愛媛大学医学部附属病院へご献体いただいたご家族の方へ

## 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った画像検査、手術情報（手術動画を含む）および献体頂いたご遺体を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や画像情報、手術情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象からは削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	頭蓋底外科におけるアプローチ選択の再検討：献体と臨床データの統合解析
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 脳神経外科 (職名) 教授 (氏名) 國枝武治
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2035 年 12 月 31 日
対象となる方	2015 年 1 月から 2030 年 12 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち 頭蓋底病変に対する手術加療が行われた患者さん 2015 年 1 月から 2035 年 12 月に献体頂いたご遺体
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、画像検査データ、手術データ (手術動画を含む)、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	献体を用いた解剖や臨床データにより既存の頭蓋底病変に対する各手術方法における到達範囲、骨削除範囲、腫瘍視認範囲を評価する。さらに臨床症例にて各手術方法における摘出度、合併症、機能温存率を解析し、腫瘍の主座や進展様式に応じた最適な手術方法を明らかにする。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報 (対応表) は、院内で個人情報管理者が厳重

	に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院脳神経外科 柴垣慶一 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960－5338